

代表質問 佐藤みち子議員



「住民の福祉の増進」求め、 石井新市長に代表質問

石井市長就任後初の6月議会が終わりました。市長は、「仕組みを変えてOPENな西宮市役所へ」と所信表明。改革の意思を示すためにと、「石井市長の今期中の市長退職金廃止」、「月額給料18%カット」の条例を提案しました。所信表明に対し各会派から代表質問が行われました。



「憲法9条改正」について

明確に答えず



代表質問に立った佐藤みち子議員は、市長は選挙時のインタビューに「地方自治体のトップを選ぶ際のテーマとして、憲法にメインのスポットを当てるべきではない」と答えていたが、憲法擁護の義務を負う市長として憲法改正についてどう思うか、質問しました。

市長は、「制定後全く改正されないこと自体必ずしも正しいとは思っていない。しかし、市長として現憲法を尊重し擁護する立場にあるので、しっかりと踏まえたい」と答弁しました。また、改正の焦点になっている憲法9条についての考えを質問しましたが、市長からは明確な答弁はありませんでした。

借り上げ市営住宅問題

市長は公約破り、「退去」を求める

佐藤議員は、市長は借上げ復興住宅弁護団等の公開質問状に、前市長の提訴に「反対の立場」「継続入居を認めていく方向で進めるべき」と答えていたのに、市長就任後に変更し、退去を求めたことについて質問しました。

市長は「方針を変更したと思っていない」「すでに住替えた人の公平性が保てない」と、答弁。佐藤議員は「明らかに公約違反だ。継続入居を認めるべき」と、市長を厳しく追及しました。



入学準備金

来春より増額へ！



経済的困難をかかえた児童・生徒のために支給される就学奨励金・入学準備金の増額を求めた庄本議員の一般質問に対し、「2019年3月の支給分から増額できるよう補正予算での対応も視野に検討」するとの答弁。小学生は20,470円が40,600円に、中学生は23,550円が47,400円へと増額されます。



補正予算案否決、 退職金条例は継続審査に

2018年度当初予算は「骨格予算」のため、新市長の下での新規施策は6月議会に補正予算として提案されました。

日本共産党議員団は民間による放課後児童クラブ（学童保育）事業に反対しました。

政新会は外部人材（専門家）の活用に係る謝金で、会派せんしんは酒蔵ツーリズムに係る観光案内所への税金投入は必要ない、とそれを削除す

る修正案を提案し、否決されたため原案に反対しました。3会派の反対により補正予算案は否決となりました。

また石井市長の退職金を支給しない条例案について「市長の政治姿勢を示すものとなっていない」と、政新会が継続審査を主張、賛成多数で次議会に持ち越されました。

なお、反対か所を除いた補正予算案が8月1日開催の臨時議会に改めて提案され、可決されました。



一般質問

日本共産党2議員が質問に立ちました

6月議会



野口
あけみ



3月策定の「子どもの貧困対策計画」具体化すすめよ

「子どもの貧困」対策について、西宮市では今年3月、「子ども・子育て支援プラン」に「子どもの貧困対策計画」が盛り込まれ、今議会には、ひとり親家庭の学習支援が提案されました。

野口あけみ議員はこの計画の4つの柱に沿って具体化を求め、一般質問しました。

まず、不登校や虐待など、学校だけでは対応が難しい子どもの抱える諸課題に対処するスクールソーシャルワーカー（SSW）の増員について、「2019年度を目標に全中学校区に配置」する計画の実現見通しを聞きました。

教育委員会は、国・県と同様に、週に1日中学校区（校区内の小学校を含む）にSSWを配置できるよう検討していると、答弁しました。

「口腔崩壊」の子どもに受診支援を

続いて野口議員は、歯医者に連れて行ってもらえない「デンタルネグレクト」の問題を取り上げ質問。

西宮でも公立幼小中での2017年度の歯科検診で、虫歯のある子どもの6割が未受診。うち虫歯が10本以上ある「口腔崩壊」

状態の子ども98人の内、未受診も70人いることが判明。行政や学校が受診できるよう支援すべきと追求しました。

教育委員会は、「SSW等を交えての家庭支援も含めた対応は可能と考える」と答弁しました。



庄本
けんじ



子ども医療費無料制度、子ども食堂…具体案明言せず

中学校三年生までを対象にした西宮のこども医療費無料制度は、所得制限によって対象年齢のうち2割ほどの子どもが制度から外され、医療費負担は3割となっています。庄本議員は、「市長は制度を見直すと言及しているが、所得制限は撤廃すべき」と質問。しかし、市長の答弁では「拡充に向けた持続可能な制度を検討していきたい」と述べただけでした。

また、全国で2,200カ所を超えて広がる子ども食堂について市長は、公約で「すべての学校区に、子ども食堂を設置します」と述べていました。庄本議員は「どのように具体化するのか」と問い合わせましたが、市長は一切明らかにしませんでした。

認可保育所増設を

保育所の待機児童は依然として深刻。今年4月1日の「保留児童」数は828人でその後も増え続けています。しかし、市が目標とした3年間で1,500人の受け入れ枠拡大は、達成する見込みがないことが庄本議員の質問で明らかになりました。

政府は、認可外の企業主導型保育所を待機児童対策の枠に組み込み、保育環境をより悪化させる方向での対応をすすめようとしています。庄本議員はこうした動きに流れされることなく、認可保育所の増設で対応することを強く求めました。

議会役職と委員会担当

佐藤みち子

☎ 42-2856



●幹事長
●民生常任委員

庄本けんじ

☎ 42-0921



●教育こども常任委員
●社会福祉審議会委員

杉山たかのり

☎ 35-1682



●総務常任委員
●都市計画審議会委員

野口あけみ

☎ 34-7329



●団長
●健康福祉常任委員

まつお正秀

☎ 73-0775



●建設常任委員
●広報広聴特別委員会委員
●民生委員推薦会委員

(市外局番は0798)

市民との会話を「録音」する

市民敵視の「口利き防止条例」 日本共産党議員団は反対

モリカケのような特定の事業者等に便宜をはかるのを抑止しようというのが「口利き防止条例」。議員28名が提出した条例案は、市民が不当要求をすることが前提で、刑事告発の証拠を確保するために、市民との面談の際にやりとりをすべて記録します。その上、他の自治体にもない「録音」ができるという市民を敵視する悪質な内容となっています。

総務常任委員会では、提案者の浜口議員（会派せんしん）は、杉山議員等の質問にまともに答弁できず、内容のズサンさが露呈。10月施行のための準備は予算も含め全て当局まかせ、刑事告発の対象となる市民への周知もできないという無責任ぶりも明らかになりました。日本共産党議員団は議会で時間をかけて検討すべきとの立場から継続審査を主張しましたが、最終的には市民を敵視する条例案に反対しました。

否決

政府に核兵器禁止条約への署名求める請願

新日本婦人の会西宮支部より、「核兵器禁止条約の日本政府の署名を求める意見書を採択するよう求める」請願が提出されました。党議員団はこの請願の筆頭紹介議員となって採択に向けて奮闘。この請願が審査された総務常任委員会では、他会派からはほとんど質疑はなく、討論では核兵器はなくすべきと言いながら、日本政府の核抑止力論に同調する立場から、政新会（自民系）、公明党、維新系無所属議員などが反対、否決されました。



ブロック塀の撤去・改修へ補正予算

6月18日の大阪府北部地震によるブロック塀倒壊事故を受けて、西宮市においても学校施設及び保育所のコンクリートブロック塀の緊急点検が行われ、結果、146か所で不適合個所が確認されました。市は、急遽、1億2,757万円の補正予算を組み、ブロック塀を撤去し、フェンスを取り付ける工事（総事業費は約3億1,700万円）を行うことになりました。

